



▲環境を守り育てることの大切さ

4月12日、市役所であやせ環境ネットワークの総会が開かれ、新年度事業計画が承認されました。加入団体活動紹介では「ふるさと宝カルタ」の紹介があり、環境を守り育てることの大切さを再認識する機会にもなりました。【近藤 秀敏】



▲提案事業を写真や映像でPR

4月14日、市役所で25年度きらめき補助金の公開プレゼンテーションと選考会が開かれ、応募団体が提案事業を写真や映像でPRしました。選考の結果、8団体への補助金交付が決まりました。【福島 順一】



▲地域のために「力を合わせて頑張ろう」

4月28日、大上地区社会福祉協議会の総会が開かれ、高齢者の見守り活動など5項目の事業計画を満場一致で承認しました。総会参加者の表情からは、地域のために「力を合わせて頑張ろう」という新たな決意が強く感じられました。【吉江 旭】



▲爽やかな雰囲気の中で進行

蓼川さわやかクラブの25年度の総会が蓼川自治会館で開かれ、爽やかな雰囲気の中で進行しました。それぞれが支え合う気持ちと、今年度も元気に楽しく生活できるようにとの思いが伝わる総会でした。【大滝 隆司】



▲目久尻川クリーンアップ大作戦

5月12日、目久尻川一円の4市1町の各団体と有志の総勢41人が、一斉清掃を吉岡地区センターからスタート。NPO法人ふるさと環境市民の音頭で、ブタッコリ〜も参加し、全員がいい汗を流していました。【高橋 元】



▲5円玉手芸で「よろい」

武富宏子さん(深谷南)は、5円玉を使った手芸で「よろい」を作っています。1体に約2000枚の硬貨が使われており、ひもや型も全て手作りです。武富さんは「今後も、新しいことに挑戦していきたい」と話してくれました。



災害時の燃料などの供給に関する協定を締結

5月8日、県石油商業組合高座支部綾瀬部会と「災害時における燃料等の供給に関する協定書」を締結しました。この協定は、地震、風水害、大火災などの災害時に応急対策を実施する際、燃料などを円滑に確保するためのものです。



署名記事は広報まちかど特派員から



▲田んぼの泥を集めて回るツバメ

今年もツバメがやって来ました。さっそうと飛ぶツバメは、田園を持つ日本の風物詩ですね。早速、巣作りでしょうか。田んぼの泥を集めて回るツバメを見つけました。早川の田んぼにて。

【段木 武】



▲「朝一番徳の市」は大にぎわい

5月5日、第1日曜日恒例の朝一番徳の市が文化会館駐車場で開かれました。地場産の野菜やおいしいものなどに、大勢のお客さんが押し寄せていました。【河野 実】



▲硬式野球場開場を祝いました

綾瀬スポーツ公園の硬式野球場が完成し、5月1日から供用を開始しました。これを祝おうと、4月29日には市野球協会主催のセレモニーが開かれ、県立綾瀬高校と県立綾瀬西高校の試合などが行われました。